

に立って合併を考え、観音寺市、大野原町、豊浜町の自然、地理的条件や経済的・文化的関連を考慮し、新市の建設、財政計画についてしっかりとした目標を持ち、合併を考えていく必要があると思います。

お年寄りやかわいい子供や孫のためにも市町合併は避けて通れません。このような変革の時代にあって、観音寺市、大野原町、豊浜町は自然環境、行政課題など、さまざまな問題が共通しております。一体となってこれらの行政課題に的確に対応し、将来に向けて、福祉の充実した安心して住めるまちづくりを達成しなければなりません。

また、昨年は過去においても例を見ないほどの甚大な被害を受けましたが、今後の防災対策につきましても、地域の条件に的確に対応して防災体制の充実強化を図り、安全なまちづくりを進めてまいります。

歴史と伝統に輝き、先人たちの偉大な英知と努力によって築いてこられた観音寺市、大野原町、豊浜町も合併後、新生観音寺市として、更に行財政改革を進め、時代に合った行政運営に努め、住民の皆様と新しい観音寺市を創造していきたいと考えております。

本日の調印式を新たな出発の日として、1市2町がさらに協力し合って、本年10月1日の新しい「観音寺市」誕生に向けて努力してまいりたいと存じます。

また、新市の将来像であります「海・山・川そして人が織りなす『新・田園都市』かんおんじ」の建設を目指して準備を進めてまいりますので、引き続きご列席の皆様方並びに1市2町の住民の皆様方の今後一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

司会 続きまして、本日合併協定調印式の特別立会人をお願いいたしました香川県知事真鍋武紀様からご祝辞を賜りたいと存じます。

〔 来 賓 祝 辞 〕

真鍋香川県知事 祝辞。観音寺市、大野原町、豊浜町合併協定の調印、誠におめでとうございます。心からお喜びを申し上げます。

将来の発展を願って、困難を乗り越えてこられた市長さん、町長さん、議員の皆様のご尽力を初め住民の皆さんのご理解とご協力を心からたたえますとともに、今日の日を迎えた喜びを皆様とともに分かち合うことができますことを大変うれしく思います。

今日、地方自治体は少子・高齢化の進行や三位一体改革を初め地方分権の進展などにより、大きな変革と試練の時を迎えております。このため、行財政基盤を強化し、自立性の

高い自治体を目指すとともに、広域的な行政課題に的確に対応していかなければなりません。

皆様方は、昨年4月に合併協議会を設置し、お互いの立場を尊重しながら住民の将来のために真剣に議論を重ねられ、本日ここに調印式を迎えられたものでございます。誠に意義深いことであると思います。

1市2町は燧灘に面する海岸や伊吹島、県下有数の農業生産を誇る田園地帯、河川やため池、緑豊かな讃岐山脈など、自然環境に恵まれ、「銭形」「豊稔池」や「ちょうさ」など、豊かな文化と伝統を有しておられます。こうした地域の特性を生かし、「海・山・川そして人が織りなす『新・田園都市』」を基本理念に、「豊かさと安らぎがあふれる協働の町」を目指して、新しいまちづくりが進められることになっております。

本年10月11日に誕生する新しい「観音寺市」が、魅力あふれる本県の西の玄関都市として大きく飛躍、発展していくことを期待しております。どうか皆様方には合併してよかったと思えるようなまちづくりに、引き続きご尽力いただきたいと思います。そして、今後1市2町の議会と県議会の議決、国の告示など手続を経て、めでたく合併の日を迎えられますことを心から念願いたしております。県では、新しいまちづくりが円滑に進められるよう県独自の合併支援プランに沿って、全力を挙げて支援してまいります。

それでは、新しく誕生する「観音寺市」のご発展と本日お集まりの皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍を心からお祈りしてお祝いの言葉といたします。平成17年1月27日。香川県知事真鍋武紀。本日は誠におめでとうございます。

司会 ありがとうございます。

続きまして、ご臨席賜っておりますご来賓の皆様からご祝辞を賜りたいと存じます。

香川県議会議長増田稔様。よろしくお願いをいたします。

増田県議会議長 祝辞。本日の佳き日、観音寺市、大野原町、豊浜町の1市2町によります合併協定の調印が執り行われましたことを誠におめでとうございます。香川県議会を代表して心からお喜びを申し上げます。

地域住民の意思に基づきながら、相互の信頼と尊重の精神を堅持し、さまざまなハードルを乗り越えて本日の調印に漕ぎ着けられました関係者の皆さん方の並々な熱意とご努力に対しまして、衷心より敬意を表する次第であります。

本年は、戦後60年、さまざまな歴史的出来事の節目の年に当たりますが、それぞれの市・町におかれましても、ともに現在の市・町の形となって50周年という節目の年に当